

ホームページ公表用

第2次おいらせ町総合計画後期基本計画

住民説明会結果報告書



令和6年3月

おいらせ町

目 次

1. 概要	1
(1) 目的	1
(2) 日程等	1
(3) 出席者（町側）	1
(4) 配布資料	1
2. 実施結果	2
(1) 中央公民館会場.....	2
(2) みなくる館会場.....	2
(3) 北公民館会場.....	4
(4) 各会場の様子.....	6
3. 最後に	6

1. 概要

(1) 目的

令和6年度から5か年の「第2次おいらせ町総合計画後期基本計画」の策定に伴い、その内容等を住民へ説明する。

※説明会では、役場新庁舎建設に関する説明も実施したが、この報告書では、町総合計画に係る部分のみの報告とする

(2) 日程等

日 程	時 間	場 所	参加人数
2月26日(月)	18時30分～19時30分	中央公民館 講堂	28人
2月27日(火)	18時30分～20時00分	みなくる館 みなくるホール	35人
2月28日(水)	18時30分～19時55分	北公民館 講堂	39人

(3) 出席者(町側)

所 属	出席者名
三 役	町 長 成田 隆
	副町長 小向 仁生
	教育長 松林 義一
総 務 課	課 長 成田 光寿
	課長補佐 堤 雅之
	主 査 三浦 和也
政策推進課	課 長 柏崎 勝徳
	課長補佐 川原 真栄子
	主任主査 馬場 祐二
まちづくり防災課	課 長 田中 淳也
財政管財課	課 長 岡本 啓一
おいらせ病院	事 務 長 田中 貴重

※住民説明会開催時の所属となります。

(4) 配布資料

- ・第2次おいらせ町総合計画後期基本計画について

2. 実施結果

(1) 中央公民館会場

日 時：令和6年2月26日（月）18時30分～19時30分

場 所：中央公民館 講堂

参加者：28人

質疑応答

特になし

(2) みなくる館会場

日 時：令和6年2月27日（火）18時30分～20時00分

場 所：みなくる館 みなくるホール

参加者：35名

意見交換要旨

発言者	発言内容
参加者 A	施策 3-4「次代へ伝える文化財の保存・活用」の主な取り組みに「郷土芸能の保存と継承」の記載がある。先日行われた百石えんぶりでは、今年は4年ぶりに八戸の一斉揃りに参加した。以前は、百石えんぶりを応援してくれる人や見学したい人が乗るバスを町で借りてくれていたが、今年はなかった。このバスのおかげで、北部地区の人が多く見に来てくれていたので、郷土芸能の伝承という意味でも続けてほしい。また、百石えんぶりは神社（八幡宮）から始まり、その後町内を巡回するが、最初に披露する神社に役場の職員が来ていない。町の郷土芸能を保存、継承をしていくためにも、今後役場や教育委員会の支援が必要である。
教育長	教育委員会では、基本方針3「豊かな心と伝統・文化が薫るまち」の中で「郷土芸能の保存と継承」、「郷土芸能団体との連携」という目標を立てた。今後は、郷土芸能の保存と継承等の検討と工夫を進め、併せて財源の確保にも努めていくので、応援や支援をお願いしたい。
参加者 B	質問が3つある。1つ目は、デジタルトランスフォーメーションの関連について、マイナンバーカードと健康保険証の紐付けの啓発が不足しているように感じる。2つ目は、健康管理について、青森県では、QOL（クオリティオブライフ）に取り組んでいるが、町は遅れているように思える。新型コロナウイルス感染症の影響で健康まつりが実施できていなかったことも原因だと思うが、QOL実施の見通しを教えてください。3つ目は、能登半島で大地震があったが、耐震についての町の対策や考え方があれば教えてください。
総務課長	マイナンバーカードと健康保険証の紐付けについての具体的な対応は、町民課が担当している。広報紙等で町民に周知できるよう町民課と協議、検討したい。

政策推進課長	QOL 健診について、以前は弘前大学と連携して実施していた。ここ数年は、新型コロナウイルス感染症の影響で実施できていなかったが、今後は QOL の取組が進んでいくものと思っている。健康まつりについては、以前は単独で実施していたが、現在は町の大きなイベントである生涯学習フェスティバルの中で実施している。
まちづくり防災課長	耐震化について、能登半島地震は直下型地震であったため、多くの家屋が倒壊しており、その倒壊が原因で亡くなった方が多いと伺っている。町では基本的に個人住宅は、個人で耐震化を進めるものとしているため、町としては、今後耐震化を進める啓発の周知、家具類の倒壊防止対策の周知を実施していきたいと考えている。
参加者 C	デジタル化の記載があるが、マイナンバーカードを活用したワンストップ窓口のようなものをつくっていただきたい。近隣市町村でも始まっているが、例えば死亡届を提出したときに、1 か所で終わるような体制、窓口を検討してほしい。そうなれば、もっとマイナンバーを使える機会が増えて、便利になるのではないかと思う。
政策推進課長	書かない、待たない、来ない窓口は、自治体 DX というデジタル技術を活用した取組として各自治体で進めている。町も令和 6 年度から検討を進めていくが、新庁舎建設にも関わることなので、併せて検討していきたい。
参加者 D	今回は後期基本計画を策定したということだが、4 ページの基本構想は前期基本計画と同じ内容なので、説明を省略しても良い。説明する場合は、前期基本計画の内容や進捗の報告書、前期基本計画と比較して何が変わったのかを説明すればかなり省略できると思う。それから、実施計画は 3 か年計画を毎年更新するという記載がある。実施計画の方がより具体的で目につきやすいと思うので、説明をお願いしたい。医療福祉法の関係だが、地域包括ケアシステムが後退しているように思える。今後非常に重要になってくるので、新しい病院の建設も含めて、関係者が一体となって、本気で進めてほしい。
政策推進課長	後期基本計画の計画書は全世帯に配布しないため、今回は内容を主に説明した。また後期基本計画の計画書は、約 200 ページにもなるため、時間の都合により、前期基本計画関連の説明を省略した。後期基本計画及び前期基本計画の計画書や点検・評価報告書は、町ホームページにて公表する。併せて、実施計画についても、毎年 4 月～5 月頃に町ホームページや役場の庁舎で公表しているので、確認していただきたい。
おいらせ病院事務長	地域包括ケアシステムについては、旧百石町の時から進めてきた経緯がある。現在の地域包括ケアの役割について国では、2025 年を目途に団塊世代である 75 歳以上をターゲットとして、重度な要介護者状態になっても住み続けたい、地域で自分らしい生き方をしたい、最後まで人生を遂げたい、続けていきたいという住まい、医療、介護予防生活支援が一体的に提供される地域ケア、包括ケアシステムの構築を推進している。病院でも、国に従い、介護、福祉と連携しながら進めている。これから高齢者が増えることにより、急性期よりも回復期の人が増え、場合によっては入院患者が増える可能性も高い。そのような動向を踏まえ、病院だけではなく、町や八戸圏域を含めた医療体制の検討を今後進めていきたいと考えている。

(3) 北公民館会場

日 時：令和6年2月28日（水）18時00分～19時35分

場 所：北公民館 講堂

参加者：39名

意見要旨	
発言者	発言内容
参加者 E	交通事故防止や犯罪防止につながる面から、交番があれば安心して暮らせる。町内会を通しての集金依頼が多い。町内会が役場からの集金の委託機関のようになってきているように感じる。集金については、必要に応じて徴収するシステムに見直してはどうか。県道の清掃については、県の方で実施するべきではないか。
まちづくり防災課長	現在町にはおいらせ交番がある。交番の設置等は、青森県警が管轄しているため、要望があったことを情報提供したい。町内会に依頼している集金業務は、現在赤十字や赤い羽根、社会福祉協議協会等多数あるが、町だけでは町内の全世帯の集金が困難であるため、課題等もあるが、今後も町内会の協力をお願いしたい。
総務課長	県道の清掃については、春に実施している全町一斉清掃やクリーン運動という行事にて、各町内会の方に地域にある道路や側溝の清掃、ごみ拾いをお願いしている。道路管理者という視点で見ると、県道は県の方で実施しなくてはならないが、地元にある道路を大切にしよう、地域をきれいにしようという観点から、町内会をお願いしているものである。今回の意見は、担当課である町民課にも伝える。
参加者 F	基本方針4「快適で安心して暮らすことができるまち」の「環境保全・美化活動の推進」に関連するが、毎年夏に発生する悪臭への対策のことで質問がある。おそらく畑に投入する堆肥が原因だと思われるが、完熟の堆肥を畑に使用しているのであれば問題ないが、未完熟の堆肥を使用している場合は悪臭の原因となる。地域住民や観光施設に来るお客さんから、毎年数件、私のところに相談や苦情がきている。その度に町民課や農林水産課に相談するが、解決に至っていない。この悪臭対策について町はどのように考えているのか。
政策推進課長	未完熟の堆肥が原因の悪臭については、毎年のように町に苦情が寄せられており、その度に農林水産課から農家に指導を行っている。また苦情があれば、県とも連携をしながら、環境保全を担当している町民課の方でも場所を特定したり、相手のところに行ったりして指導やお願いをしている。今後も苦情等があれば関係課と連携しながらすぐに対応していきたい。
参加者 F	この件について、私なりの解決策を町に数年前から提案しているが、再度提案したい。燻炭作りの過程で熱が発生したものを未完熟の堆肥に混ぜると堆肥の発酵が進み、悪臭があまり発生しない完熟の堆肥に近づく。このやり方を農家に指導してはどうか。町全体で情報共有をしながら、どのように解決していくのかという議論をしてほしい。

政策推進課長	今回の提案を農林水産課に伝える。
参加者 G	13 ページに「生活道路の整備推進」とある。生活道路には私道もあるが、これをどのように整備していくのか。もちろん、私道には地権者がいることは分かっているが、将来的に町として私道をどのように整備していくのか伺いたい。
総務課長	後日、生活道路の整備を担当している地域整備課から回答する。
参加者 H	基本方針 4「快適で安心して暮らすことができるまち」の施策 2「防犯・交通安全対策の推進」について伺いたい。上北道路が開通してから、豊原・豊栄線の交通量が非常に多くなった。特に大型車が多く通過しているため、道幅が狭くなり、それが原因で、歩行者に危険が生じたり、農家のトラクターが通れなくなったりと交通への支障が非常に増えている。「子ども・女性・高齢者等の安全の確保」という記載もあるようだが、歩道の整備やスピード規制の看板の設置等も行われておらず、交通安全対策も進んでいないように思える。町としてこの施策を今後 5 年間どのように進めていくのか教えてほしい。
まちづくり防災課長	豊原・豊栄線を大型トラック等が相当数は走っていることは把握している。先般町長からトラック協会の方になるべく通らないようにしてほしいとお願いをした。通学路の安全推進協議会でも、直接関わっている道路ではないものの、危険性を把握しているので、庁内、関係機関と連携しながら、インフラ整備や交通安全看板の設置等の対策を検討していきたい。
参加者 I	教育の事で聞きたい事がある。町内の学校がマンモス化している。子どもがすくすくと育っていけばいいが、社会情勢により、なかなか育成されていないように思える。子どもが多くなってきているので、教育で苦しんでいる人や困っている人が増えている。町全体として、そういった人たちに目を向けてほしい。
教育長	木ノ下小学校には、児童が 668 人くらいいるため、教育の体制を整えなければならない。そのために県に要望し、例えば保健室の先生を 1 人から 2 人体制にしたり、音楽や英語の専科を設けたりと教員を増やしてきた。これは町内で木ノ下小学校の規模でしかできない。総合計画でも教育に関する目標を立てているので、教育委員会としては、これを基に事業費を町に要望し、特別支援教育支援員を 20 人から 22 人に、教育相談員を 1 人から 2 人に、さらに今年は ICT 支援員を 1 人増やした。県に人員を要求し、町から予算を要求することで、教育体制を整えてきた。町には教育相談員もいるので、もし問題を把握したら、相談してほしい。自分たちで解決できなければ、児童相談所や警察にも相談する。教育委員会では、子どもたちがすくすくと育つように努力をしていくので、これからも地域の人たちの支援や見守りを願いたい。

(4) 各会場の様子



◀ 2月26日(月)
中央公民館会場

2月27日(火) ▶
みなくる館会場



◀2月28日(水)
北公民館会場

3. 最後に

このたびは、住民説明会にご参加いただきありがとうございました。皆さまから頂戴したご意見等は役場内で情報を共有し、今後の行政運営の参考といたします。ご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。